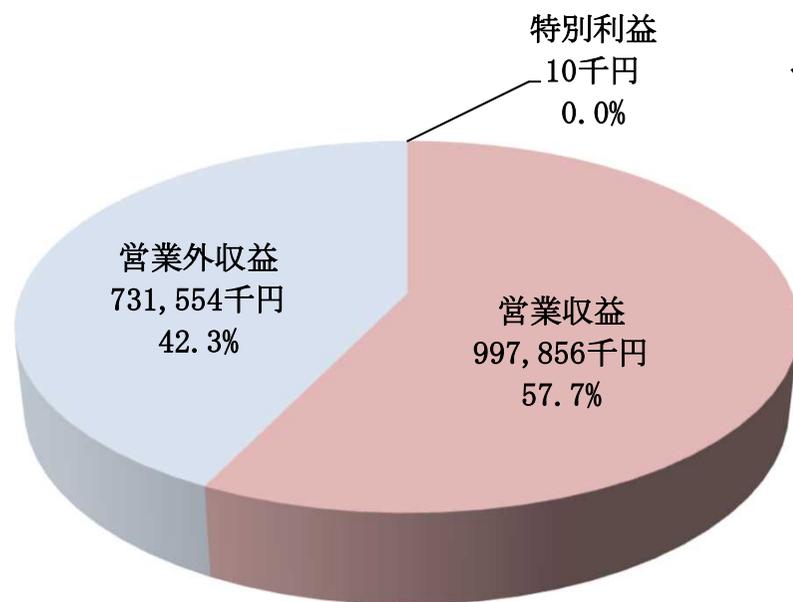


(3) 令和2年度下水道事業予算について

【資料3-2】

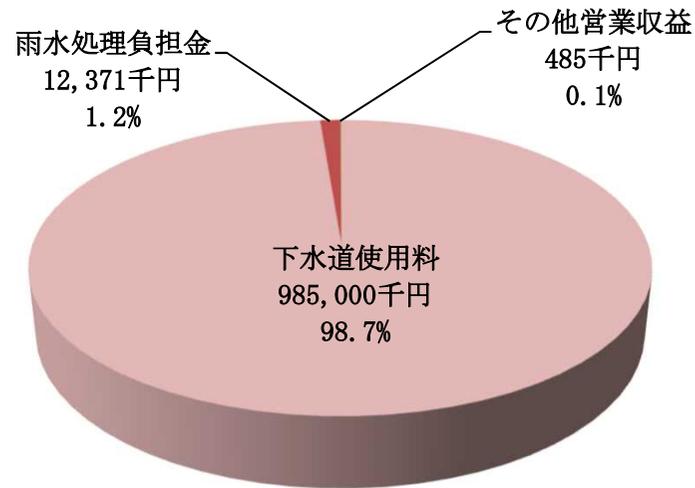
下水道事業
収益的収入及び支出（3条予算）
予定額 1,729,420千円



- 収益的収入は営業収益・営業外収益・特別利益で構成されています。
収入の約42%が営業外収益となっています。

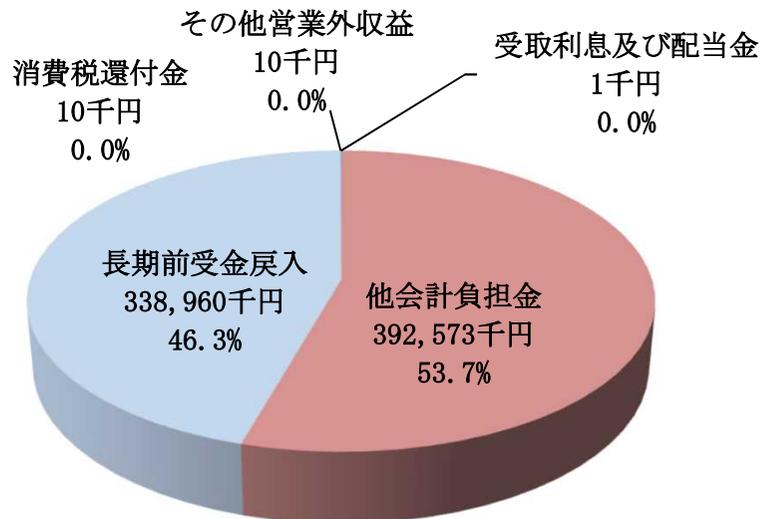
	令和2年度 予算額 (千円)	令和元年度 予算額 (千円)	増減 (千円)
営業収益	997,856	992,862	4,994
営業外収益	731,554	811,117	△79,563
特別利益	10	10	0
合計	1,729,420	1,803,989	△74,569

下水道事業 営業収益の構成



- 営業収益
営業収益の約99%が下水道使用料となっており、次に雨水処理負担金となっています。

下水道事業 営業外収益の構成



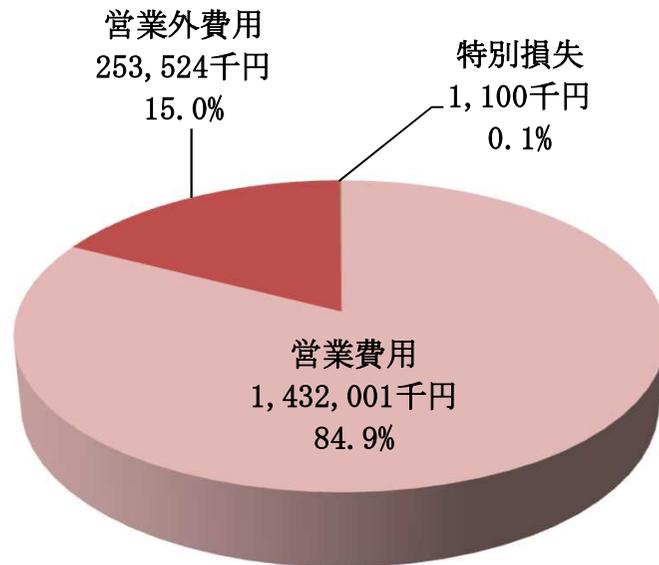
- 営業外収益
営業外収益のほとんどが他会計負担金、長期前受金戻入となっています。

※長期前受金戻入・償却資産の取得または改良に伴い交付される補助金などについては「長期前受金」として負債（繰延収益）に計上し、減価償却見合分を収益化しているものです。

下水道事業 特別利益の構成

	予算額(千円)
過年度損益修正益	10

下水道事業 費用の構成



●特別利益

特別利益は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した利益を計上しています。

●営業費用

営業費用の約67%が減価償却費となっており、次に流域下水道維持管理負担金、総係費、管渠管理費、ポンプ場費となっています。

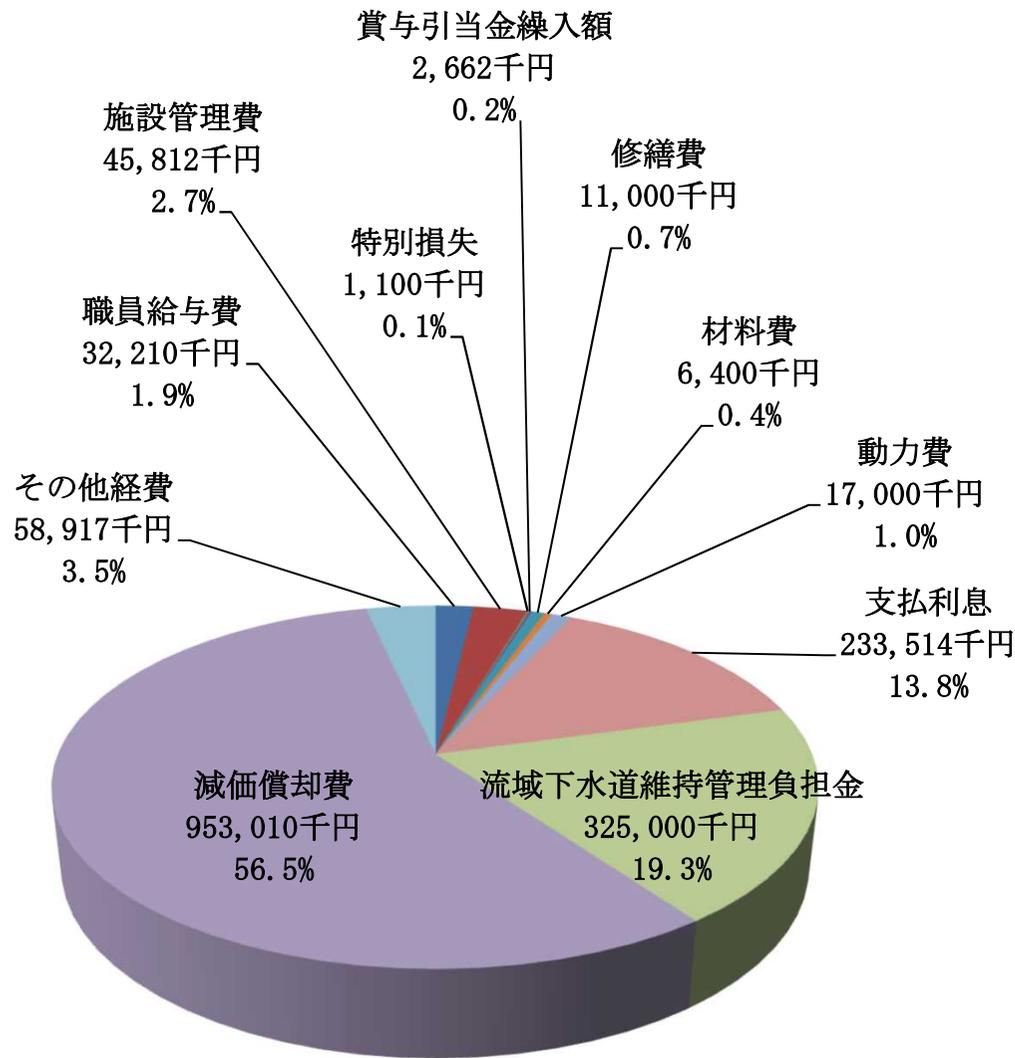
●営業外費用

営業外費用のほとんどが支払利息及び企業債取扱諸費となっています。

●特別損失

特別損失は事業を展開していく上で通常発生しないもの、例外的に発生した損失を計上するものとなっており、過年度損益修正損が約90%を占めています。

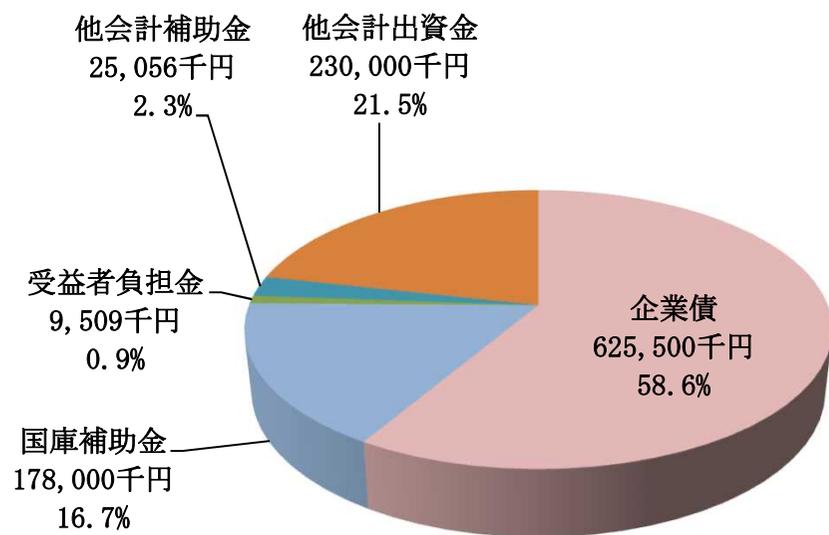
下水道事業 費用要素別構成



区分	予算額 (千円)
職員給与費	32,210
施設管理費	45,812
修繕費	11,000
材料費	6,400
動力費	17,000
その他経費	58,917
賞与引当金繰入額	2,662
流域下水道維持管理負担金	325,000
減価償却費	953,010
支払利息	233,514
特別損失	1,100
合計	1,686,625

下水道事業
資本的収入（4条予算）
予定額 1,068,065千円

下水道事業 資本的収入の構成



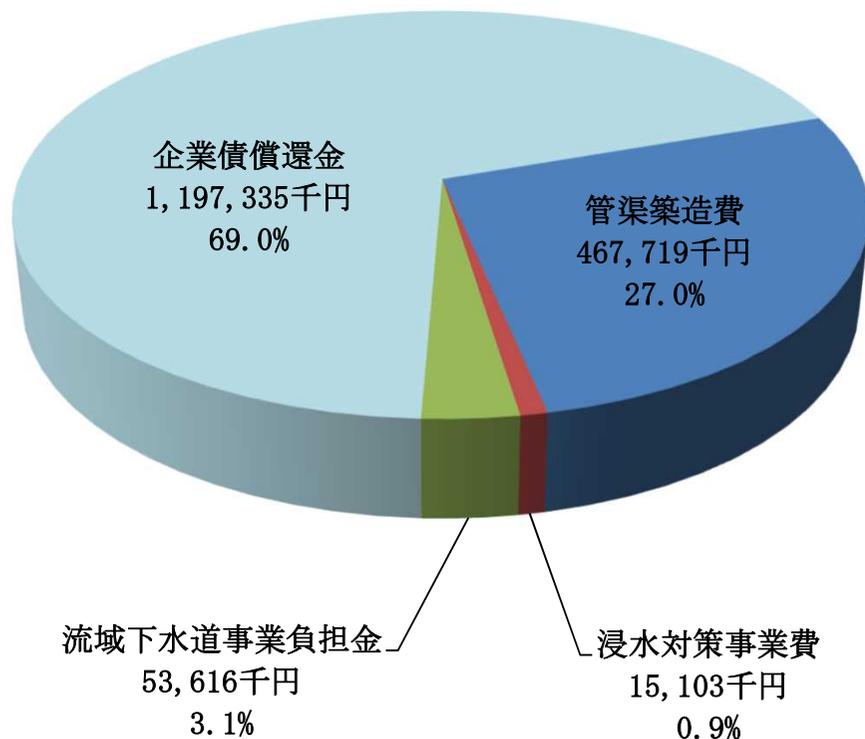
●資本的収入は企業債・国庫補助金・負担金及び分担金・他会計補助金・他会計出資金で構成されています。

●資本的収入の内訳の大部分を企業債が占めており、次に国庫補助金、一般会計からの他会計出資金となっています。

	予算額(千円)		予算額(千円)
企業債	625,500	他会計補助金	25,056
国庫補助金	178,000	他会計出資金	230,000
受益者負担金	9,509		

下水道事業
資本的支出（4条予算）
予定額 1,733,773千円

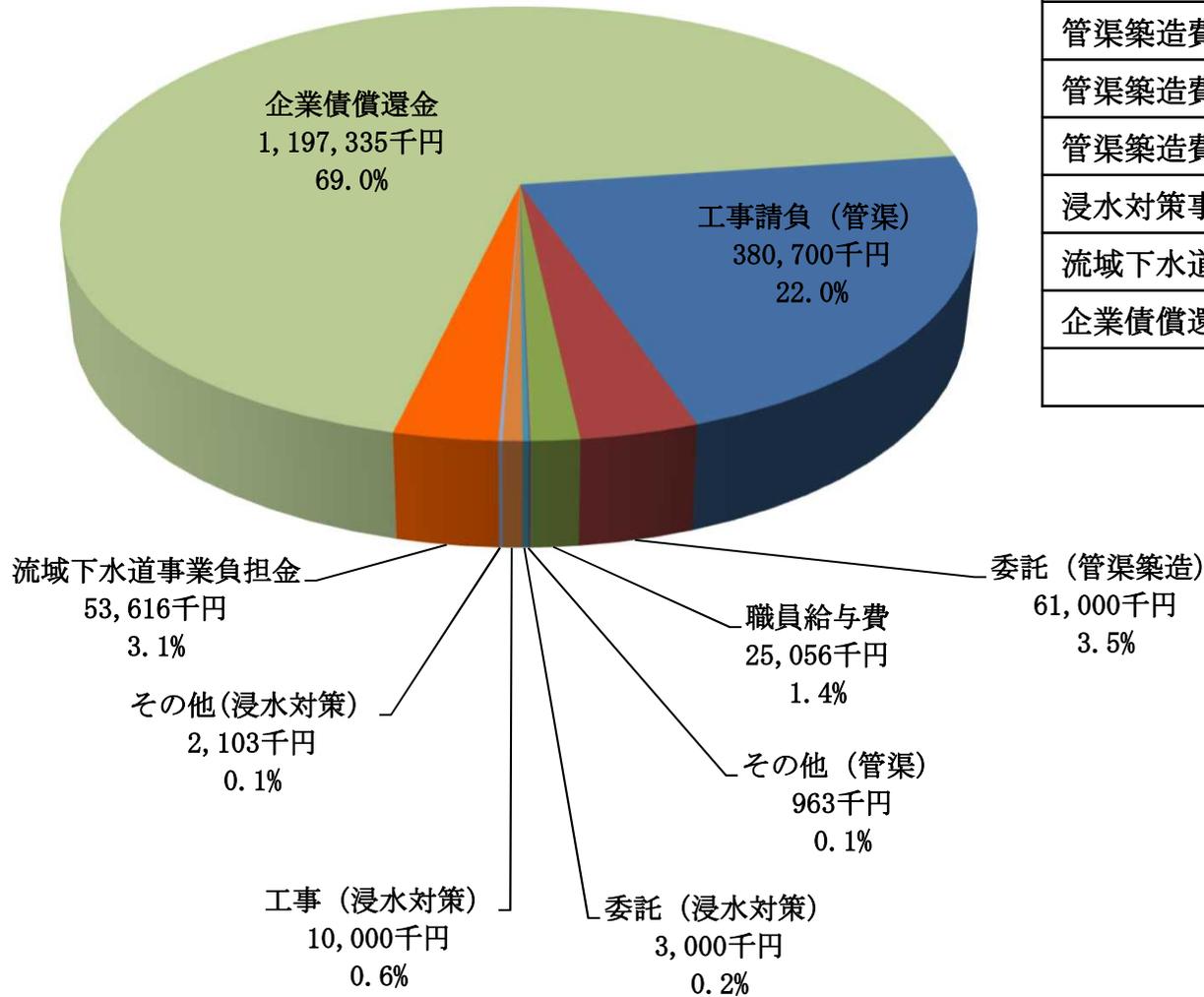
下水道事業 資本的支出の構成



- 資本的支出の内訳ですが大部分を企業債償還金が占め、次に管渠築造費、流域下水道事業負担金、浸水対策事業費となっています。
- 資本的収入額が資本的支出額に不足する額については、消費税資本的収支調整額及び減価償却費等を原資とする損益勘定留保資金等で補填することとなります。

	予算額(千円)
管 渠 築 造 費	467,719
浸 水 対 策 事 業 費	15,103
流域下水道事業負担金	53,616
企 業 債 償 還 金	1,197,335

下水道事業 資本的支出要素別構成



区 分	予算額 (千円)
管渠築造費 (職員給与費)	25,056
管渠築造費 (事務費)	963
管渠築造費 (委託料)	61,000
管渠築造費 (工事請負費)	380,700
浸水対策事業費	15,103
流域下水道事業負担金	53,616
企業債償還金	1,197,335
合 計	1,733,773

下水道事業 企業債現在高の推移

(単位：百万円)

年度	平成 21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	令和 元年度
年度末 現在高	18,408	18,331	17,909	17,598	17,310	16,999	16,687	16,175	15,541	14,981	14,428

